



図書館だより

令和8年1月 図書委員会
24H 竹本・田畠

図書委員おすすめの本

に、いつもと違うジャンルの本に挑戦してみるのもおすすめです。今年も図書館で、たくさんの本との出会いを楽しんでみませんか。

『素敵な日本人』 東野圭吾／光文社文庫

『素敵な日本人』は、短編集で、お正月や年末年始の日本らしい風景が印象的に描かれています。初詣や帰省、家族や友人との時間など、新しい年を迎える特別な季節の中で、小さな出来事や人の思いが物語として描かれています。登場人物それぞれの考え方や行動から、人とのつながりや優しさ、思いやりの大切さを感じられます。ミステリー要素もありつつ、話ごとに違った驚きや面白さがあります。読み終えた後は心があたたかくなり、年末年始や冬休みの読書にもぴったりの一冊です。

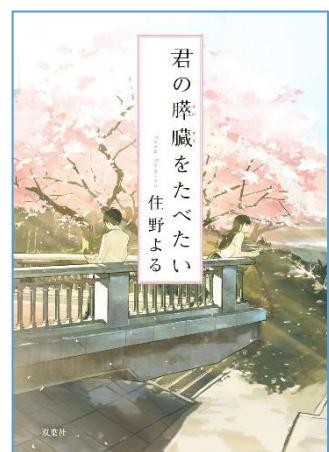


『ドールハウス』 矢口史靖・夜馬裕／双葉社

人形のある家を舞台にした不気味な物語で、読み進めるほどじわじわ怖さが増していく小説です。最初は普通の生活の描写なのに、少しずつ違和感が積み重なり、人形が関わる場面では緊張感が高まります。直接的に怖い表現が多いわけではなく、想像させる書き方が多いので、読者自身が恐怖を感じてしまうのが印象的でした。人形という身近な存在が怖く見えてくる点が、この作品の一番の魅力だと思います。

『君の臍臓をたべたい』 住野よる／双葉社

病気を抱えた少女と主人公の交流を描いた物語で、生きることの意味について考えさせられる小説です。明るく振る舞う彼女の言葉や行動の裏にある本音が切なく、読み進めるほど心に残りました。感動する場面も多いですが、ただ悲しいだけではなく、日常の大切さや人とのつながりの重さが伝わってきます。読み終えた後、当たり前の毎日をもっと大切にしたいと感じました。





読書をしようぜ！

「未来は言葉でつくられる」



ディズニーランドの創始者ウォルト・ディズニーは、まだ何も存在しない段階で「地上で一番幸せな場所をつくる」という言葉を掲げました。この言葉は、関係者全員が共有する“未来の完成形”を明確に示すビジョンでした。この言葉があったからこそ、設計、演出、接客、清掃に至るまで、すべてが「幸せとは何か」という問い合わせに基づいて判断され、その結果として、ディズニーランドは単なる遊園地ではなく、世界中の人々が幸福を体験できる特別な空間として実現しました。アメリカのオバマ元大統領のスローガン「Yes We Can」は、單

なる楽観的なフレーズではなく、この言葉は、「私ができる」ではなく「私たちならできる」という主語の転換によって、多くの市民を政治の傍観者から当事者へと変えました。人種、年齢、立場の違いを超えて、国の未来を自分ごととして考えさせる力を、この短い言葉は持っていました。結果として、歴史上初のアフリカ系アメリカ人大統領誕生という、かつては想像すら難しかった未来が現実となりました。

これらの事例が示すように、未来はまず言葉として生まれ、その言葉に人が集まり、行動が積み重なることで現実となります。書籍「未来は言葉でつくられる」は、言葉の力の凄さを教えてくれる一冊です。



今月の新着図書紹介

心に折り合いをつけてうまいことやる習慣：中村恒子

西洋の敗北と日本の選択：エマニュエル・トッド

わが闘争 上・下 改版：アドルフ・ヒトラー

名画と読むイエス・キリストの物語：中野京子

13歳からのアントレプレナーシップ：生井秀一

705号室に、泊まらないでください：塔山郁

「謎」で巡る神社の歩き方1・2：島田裕巳

濱地健三郎の奇かる事件簿：有栖川有栖

猫目荘のまかないごはん：伽古屋圭市

この本の拡散は防止不可能です：小林力

ライアーハウスの殺人：織守きょうや

リストランテ・ヴァンピーリ：二礼樹

本を守ろうとする猫の話：夏川草介

月とコーヒー デミタス：吉田篤弘

漫画お金の大冒険：両@リベ大学長

ネコシェフと海辺のお店：標野凪

果てしなきスカーレット：細田守

まず牛を球とします。：柞刈湯葉



図書委員が校外選書
で選んだ本です！

暁星：湊かなえ

変な地図：雨穴

スイッチ：潮谷駿

暗闇法廷：下村敦史

レペゼン母：宇野碧

鳥衣の華：白川紺子

閲覧厳禁：知念実希人

ドールハウス：夜馬裕

シャドウワーク：佐野広実

魔女裁判の弁護人：君野新汰

誰が勇者を殺したか：駄犬

うたうおばけ：くどうれいん

〈本の姫〉は謳う1：多崎礼

本物の算数力の育て方：田邊亨

シンデレラ城の殺人：紺野天龍

ぼくの学校は世界中：雲野秀美

アパートたまゆら：砂村かいり

僕たちは我慢している：藤岡陽子



年度末が近づいています！

きちんと返却して、すっきりと新学年をむかえましょう！

